

と う め い

発行所
 とうめい新聞社
 電話(0561)84-2458
 F A X (0561)84-2454
 http://www.setolink.ne.jp/tomei/
 〒489-0805 瀬戸市陶原町1-8
 (愛陶工西館3階)
 購読料 1か月1,630円(税別)

尾張旭のフェロシルト

土砂想定10倍

撤去作業遅れる



掘削作業に追われる造成地

尾張旭市城山町の造成地に埋められている「フェロシルト」の撤去作業が大幅に遅れている。県の措置命令による撤去期限は28日と迫っているが現在、予定箇所の約5割が未着工で、「このままでは間に合わない」と市環境課担当者は頭を抱えている。

撤去予定量が開始当

「親族の一人として申し訳ない」

谷口市長が釈明

フェロシルトの埋設問題で造成地を所有する関係者から聞き取り調査を進めるため、尾張旭市議会の建設経済委員会が17日、開かれた。地権者が母親にあたる谷口幸治市長が出席し釈明した。

谷口市長は「現場は亡き父が生前、古くからの知人に貸した土地で、借りた知人が事業者となって陶土の掘削と搬出、埋め戻し、復旧の造成工事などが行われた場所。土地を所有している年老いた者母親の親族の一人としても、大変心苦しく、申し訳なく思っている。撤去終了後には、緑を復元保全に努めていきたい」と約束した。

初の予想の約130、140トンをはるかに超える1461ト(16日現在)に上った。フェロシルトと同時に掘り出す土砂量の算出を誤っていたのが原因とみられる。

作業はこれまで造成地内5カ所のうち、2カ所の掘削を完了。3カ所目に取り掛かっているが、残りの2カ所は手付かずのままという。遅れを取り戻すため、袋詰めを終えた後の搬

出作業を急ぎよ繰り上げて開始。掘削作業と並行して15日から、三重県の四日市工場に搬出している。

市担当者は「四日市工場の受け入れができなくなる心配がある。できるだけ早く運び出してもらいたい」と話している。

一方、住民説明会などで市民から訴えがあった「掘削の際の悪臭」について、苦情などは